



1 《背のびする猫》1921年頃

NEKO

朝倉文夫の猫たち

KO



2 《狙う猫》1947年

展覧会名： 朝倉文夫の猫たち

会 期： 2011年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

会 場： 小金井市立はけの森美術館 (東京都小金井市中町1-11-3)

開館時間： 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

※節電等の影響により、開館時間の変更や臨時休館の場合もありますので、最新の情報はホームページ等でご確認ください

休 館 日： 月曜日・7月19日(火) ※7月18日(月・祝)は開館

観 覧 料： 一般500円 小中学生200円

※未就学児および障害者手帳をお持ちの方は無料

主 催： 小金井市立はけの森美術館

企画協力： 台東区立朝倉彫塑館

協 力： 東京学芸大学デザイン研究室

柔らかで可愛い、でも時折見せる野性的な行動がどこか神秘的。無愛想だったり甘えてきたりと気まぐれな態度……古今東西の多くの芸術家が、そんな猫という動物に惹かれ、作品のモチーフともしてきました。《墓守》(1910)や《大隈重信像》(1932)などの肖像彫刻で知られる日本近代彫塑の大家、朝倉文夫(1883-1964)もその一人で、一時は自宅に19匹も飼っていたといえます。また、実現には至りませんでした。晩年にはそれまでに作ったものに新作を加えて100体もの猫像を展覧する「猫百態展」を構想していました。獲物を狙って身構える、丸くなって眠る、母猫にぴったり寄り添う……展覧会出品や外部からの注文にとらわれることなく、生涯にわたって作られた多くの猫像は、朝倉の側で気ままに過ごしていた中での一瞬をそのまま写し取られたかのようです。

本展では、かつての朝倉の自宅兼アトリエを美術館とした台東区立朝倉彫塑館が所蔵するブロンズ像26点、30匹以上の猫を展示します。自然主義的写実の作家・朝倉のすぐれた観察と造形力、そして対象に向けられた愛情から生まれたさまざまな姿の猫たちをお楽しみください



3 《猫》制作年不明

ポイント



4 《吊された猫》1909年

★朝倉文夫の猫像26点を一堂に展示

朝倉の猫像は、その自然な仕草と親しみやすさから、美術ファンだけでなく猫の愛好者にもよく知られ幅広い人気を集めています。本展は、そうした猫好きの注目スポットでありながら現在休館中の台東区立朝倉彫塑館が所蔵する猫のブロンズ像を全て展示します。

※朝倉彫塑館（東京都台東区谷中）は、建物の保存修復工事のため2009年4月から2013年3月（予定）まで全面休館

★夏のはけの森美術館は「猫」でいっぱい！

2Fの小展示室でも、当館が所蔵する猫に関連した作品を特集します。やはり猫好きだった洋画家・中村研一（1895-1967）による、初公開作品を含む絵画や陶磁のほか、中村と交友のあった藤田嗣治（レオナルド・フジタ）が中村を猫に見立てた水彩画《研一猫》を2年ぶりに展示。

★展覧会を更に楽しむ「秀ちゃんのびのび猫の美ガイド」

はけの森育ちの猫「秀（しゅう）ちゃん」が案内役となって、彫刻作品の見かたや作家に関するエピソードなどを紹介するセルフガイドを来場者にプレゼントします。子どもたちには自由研究のヒントになるかも？

※「秀ちゃん」は中村研一が小金井の自宅（当館裏手「美術の森」緑地内）で飼っていた猫の名前。2F展示室に出品予定の作品にも登場します。

関連イベント

いずれも参加無料、要観覧券

申込方法（共通）：6月16日（木）より電話（美術館：042-384-9800）にて受付

1 講演会「猫と作家と彫刻のこと（仮題）」

7月24日（日）14:00～15:30

村山万介（台東区立朝倉彫塑館研究員）

定員：30名（申込先着順）

2 ワークショップ「ねこのいちにち」

8月19日（金）15:00～17:30

講師：尾崎英世（ダンスインストラクター）

定員：15名（申込先着順）

対象：小学生以上、ただし小学4年生以下は保護者も参加

展示室でお気に入りを見つけたら、ポーズをとって、のびをしよう。ねコストッチからはじまる“ねこのいちにち”ワークショップ。

※17:15より展示室で発表会（見学自由、要観覧券）



5 《たま》1930年

★本展をメディアでご紹介いただける際には、ここに掲載されている作品（1～5）の JPEG 画像をメール添付にて貸し出します。

★紹介メディアの読者プレゼント用に、本展招待券を提供いたします。枚数をご相談ください。

お問い合わせ先：中村研一記念小金井市立はけの森美術館

TEL:042-384-9800 FAX:042-381-5281 E-mail:hakenomori-art@nifty.com

〒184-0012 東京都小金井市中町 1-11-3

http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/shiminbu/shiminbunkaka/hakenomori/hakenomori_top.html